

## 第2回愛知県観光振興推進本部会議（H22.2.24）

### <発言要旨>

- 観光振興の担当部局として、一言お礼申し上げたい。本推進本部の下に設置した幹事会を本年4回開催し、様々な立場からいただいた多数のご意見を基に、本日観光振興基本計画案を提案できることとなった。皆様のご協力に感謝申し上げます。
- 今年は、東アジアからの誘客と観光情報の発信に力を入れていきたいと考えているが、あいちトリエンナーレ2010を始め、COP10や上海万博など大規模なイベントが目白押しで、愛知の知名度を上げる絶好の機会である。PRにしっかり取り組んでいきたい。
- 観光は裾野の広い産業であり、各部局所管のハード・ソフト事業など多面にわたるため、総合的に展開していく必要がある。今後、この計画の実施及び来年度以降の議会への年次報告に当たり、さらなるご協力をお願いしたい。
  
- セントレアの2本目滑走路建設に向け、地域発展ビジョンを構想しているところである。
- セントレアの活用には、物流と集客・交流の2面がある。特に集客・交流については、インバウンドをしっかりとやっていく必要がある。東アジアからの誘客がカギとなるので、本計画でも位置付けていただきありがたい。地域振興部としてもしっかりと取り組んでいくので、産業労働部も受入をよろしくをお願いしたい。
  
- 事務局の原案どおり了承し、2月議会へ報告する。
- 本計画の策定は、34年ぶりの議員提案条例からスタートした。
- 観光にスポットが当たったのは時宜に適ったものである。国においても観光立国推進基本法の制定、観光立国推進基本計画の策定、観光庁の設置という動きがあり、政権が変わっても新成長戦略の6つの柱の1つに位置付けられている。観光は従来になく重みを増してきた。
- 県においてもこれから本当に観光に力を入れていくわけであり、オール県庁でしっかり取り組んでほしい。
  
- 来年度は計画の初年度であり、知恵の勝負になる。今ある資源を活かして、他とは違う魅力を出していく必要がある。まさに試される時である。
- 現実的には先の話だが、リニア中央新幹線が開通すると東京と名古屋は約40分で結ばれる。劇的な変化になるであろう。単なる通過点になるか、集客の中心地となるか、今から種を蒔いていく必要がある。
- 今、バンクーバーでオリンピックが開催されている。カルガリーもそうだが、世界に名が知れ渡ったのはオリンピックのお陰である。大規模なイベント・コンベンションやス

スポーツ大会の開催は重要である。今年はCOP10が開催され、この地域を発信するまたとないチャンスである。来てもらった人たちに愛知・名古屋に良い印象を持ってもらいたい。

○来年度は計画の初年度であり、事業展開に当たり、今まで以上に部局を越えた協力をお願いしたい。